

# 生産者理論

総費用曲線が産出量の1次関数の場合

ミクロ経済学学生サポート V-3

以下，ページ番号 を押すと節のトップへ戻るので便利．

# 1 1次関数の場合の限界費用・平均費用・平均可変費用

- 生産量  $y$  のときの、総費用関数を  $TC(y) = cy + d$  とする。  
( $c > 0, d \geq 0$ )  
このとき、 $MC(y), AC(y), AVC(y)$  を求めると …

# 1 1次関数の場合の限界費用・平均費用・平均可変費用

- 生産量  $y$  のときの、総費用関数を  $TC(y) = cy + d$  とする。  
( $c > 0, d \geq 0$ )  
このとき、 $MC(y), AC(y), AVC(y)$  を求めると …

$$MC(y) =$$

$$AC(y) =$$

$$AVC(y) =$$

# 1 1次関数の場合の限界費用・平均費用・平均可変費用

- 生産量  $y$  のときの、総費用関数を  $TC(y) = cy + d$  とする。  
( $c > 0, d \geq 0$ )  
このとき、 $MC(y), AC(y), AVC(y)$  を求めると…

$$MC(y) = c$$

$$AC(y) =$$

$$AVC(y) =$$

# 1 1次関数の場合の限界費用・平均費用・平均可変費用

- 生産量  $y$  のときの、総費用関数を  $TC(y) = cy + d$  とする。  
( $c > 0, d \geq 0$ )  
このとき、 $MC(y), AC(y), AVC(y)$  を求めると …

$$MC(y) = c$$

$$AC(y) = c + d/y$$

$$AVC(y) =$$

# 1 1次関数の場合の限界費用・平均費用・平均可変費用

- 生産量  $y$  のときの、総費用関数を  $TC(y) = cy + d$  とする。  
( $c > 0, d \geq 0$ )  
このとき、 $MC(y), AC(y), AVC(y)$  を求めると …

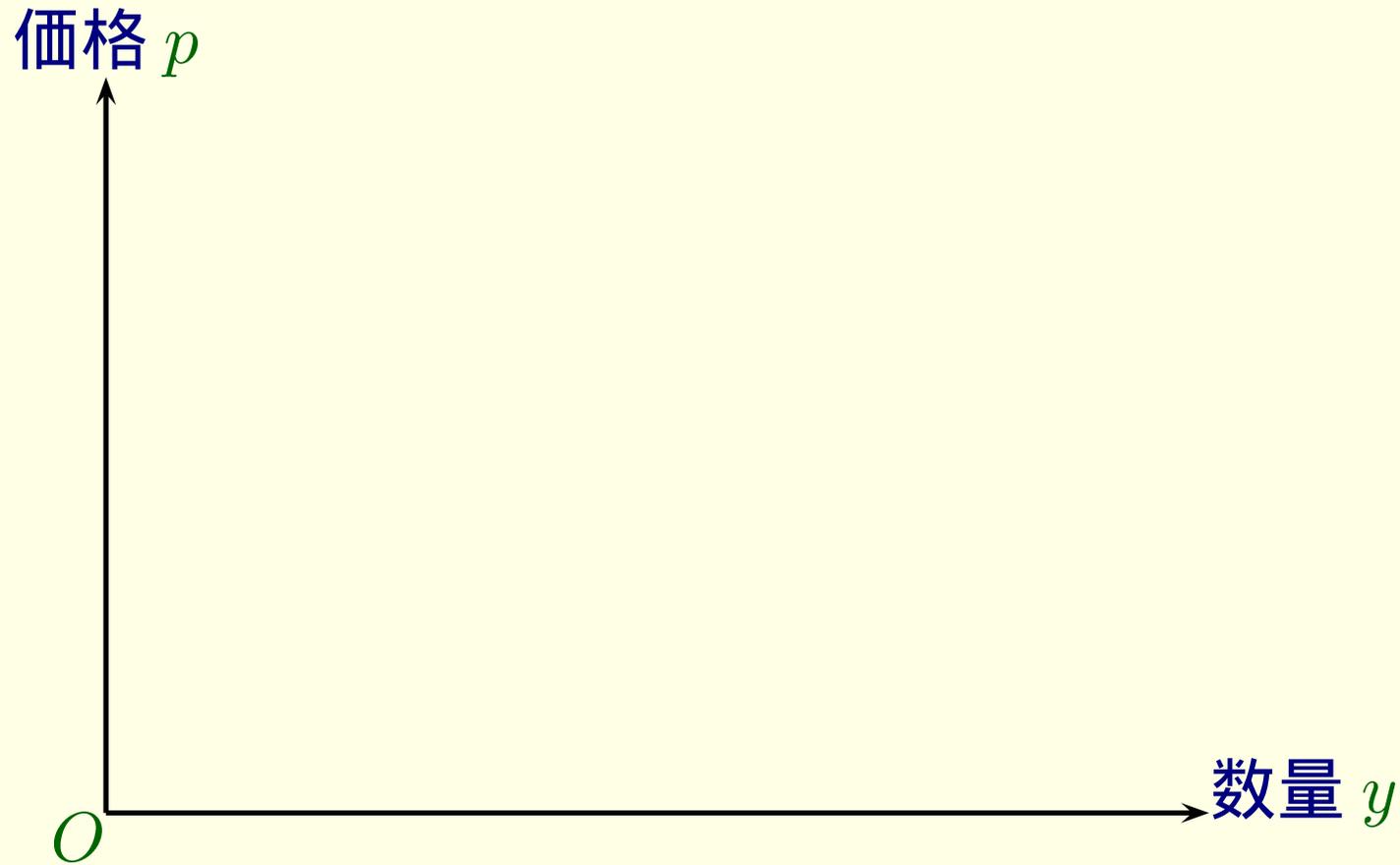
$$MC(y) = c$$

$$AC(y) = c + d/y$$

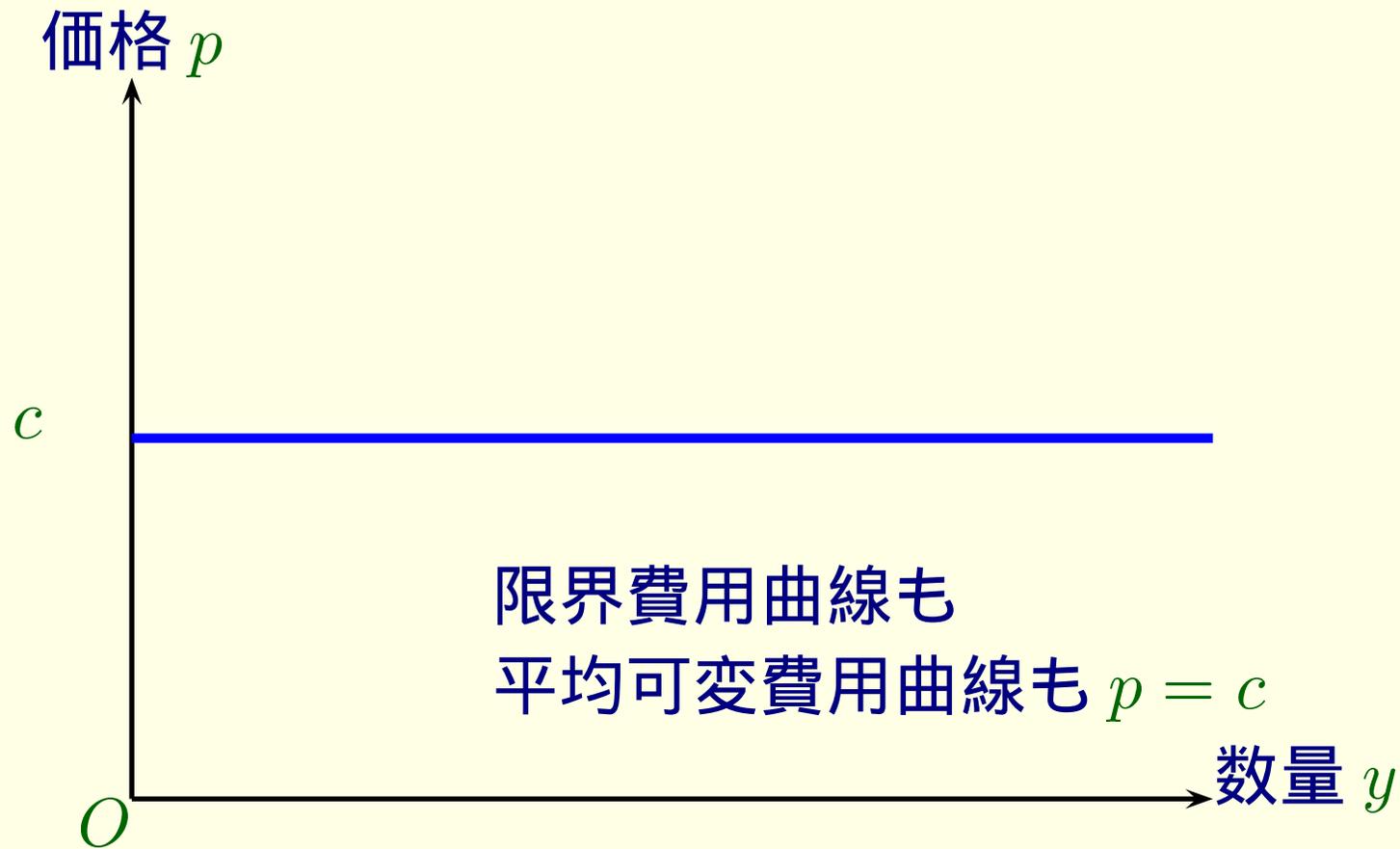
$$AVC(y) = c$$

このように限界費用一定となる。図で示せば、

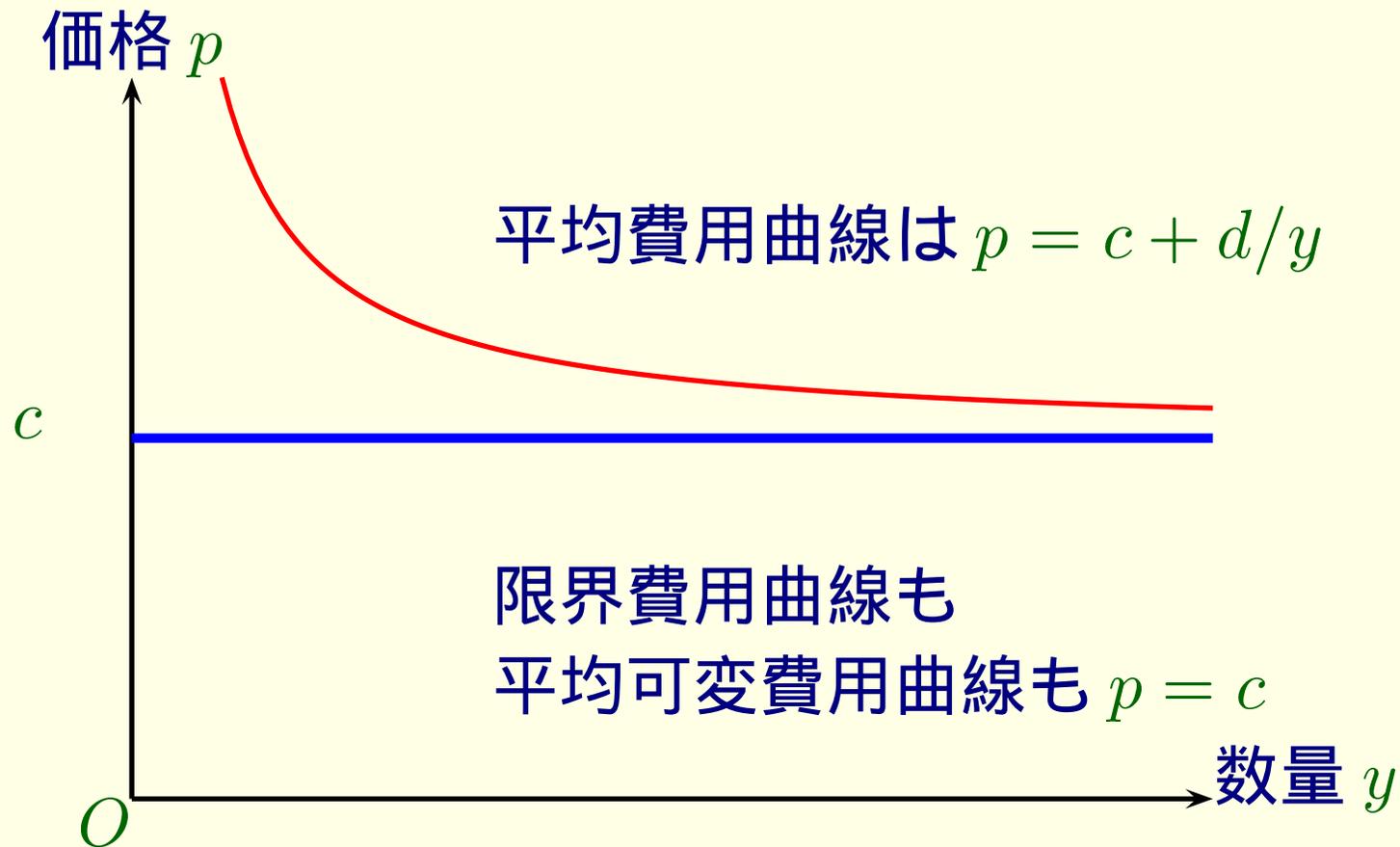
## 2 $TC(y) = cy + d$ のとき



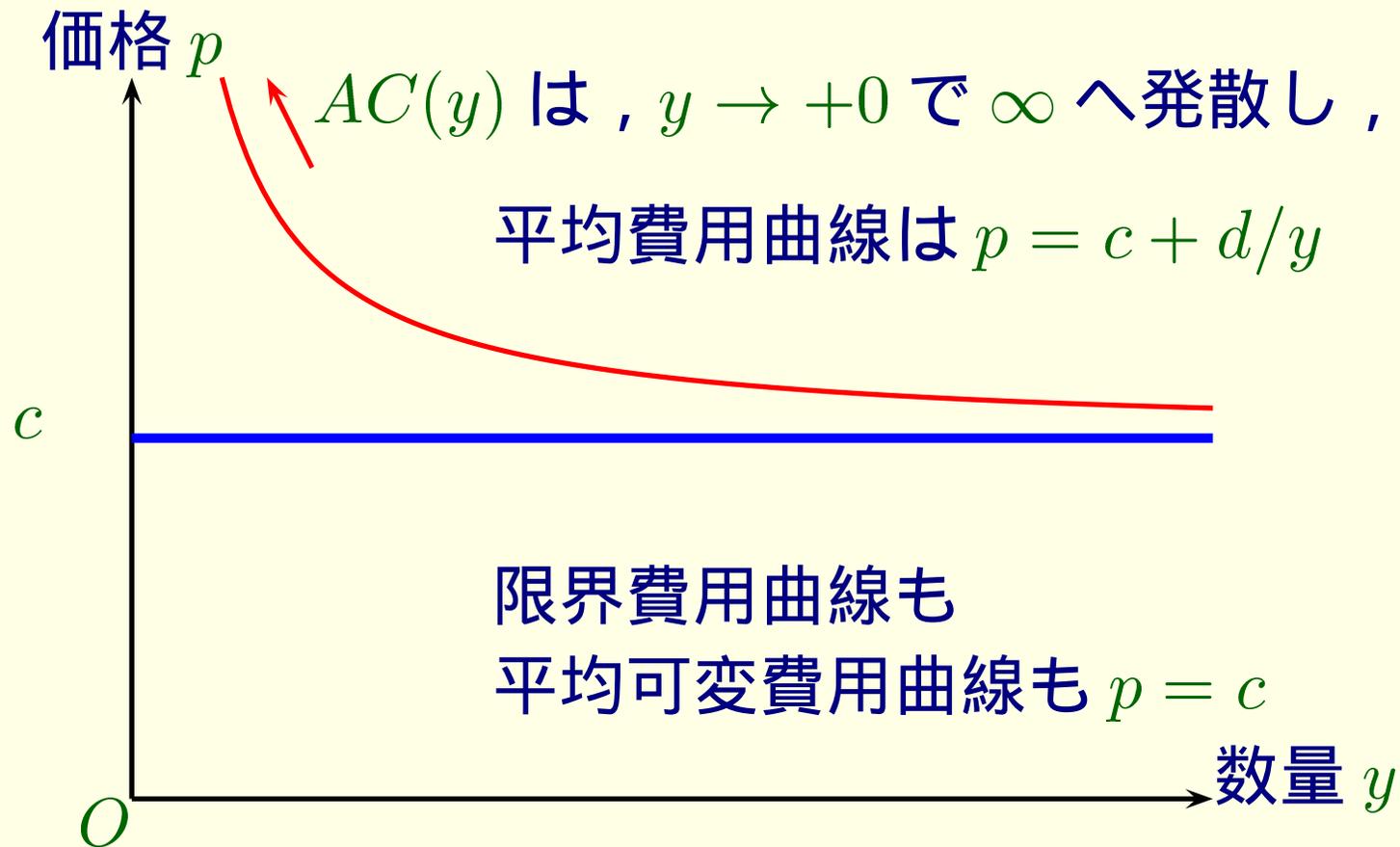
## 2 $TC(y) = cy + d$ のとき



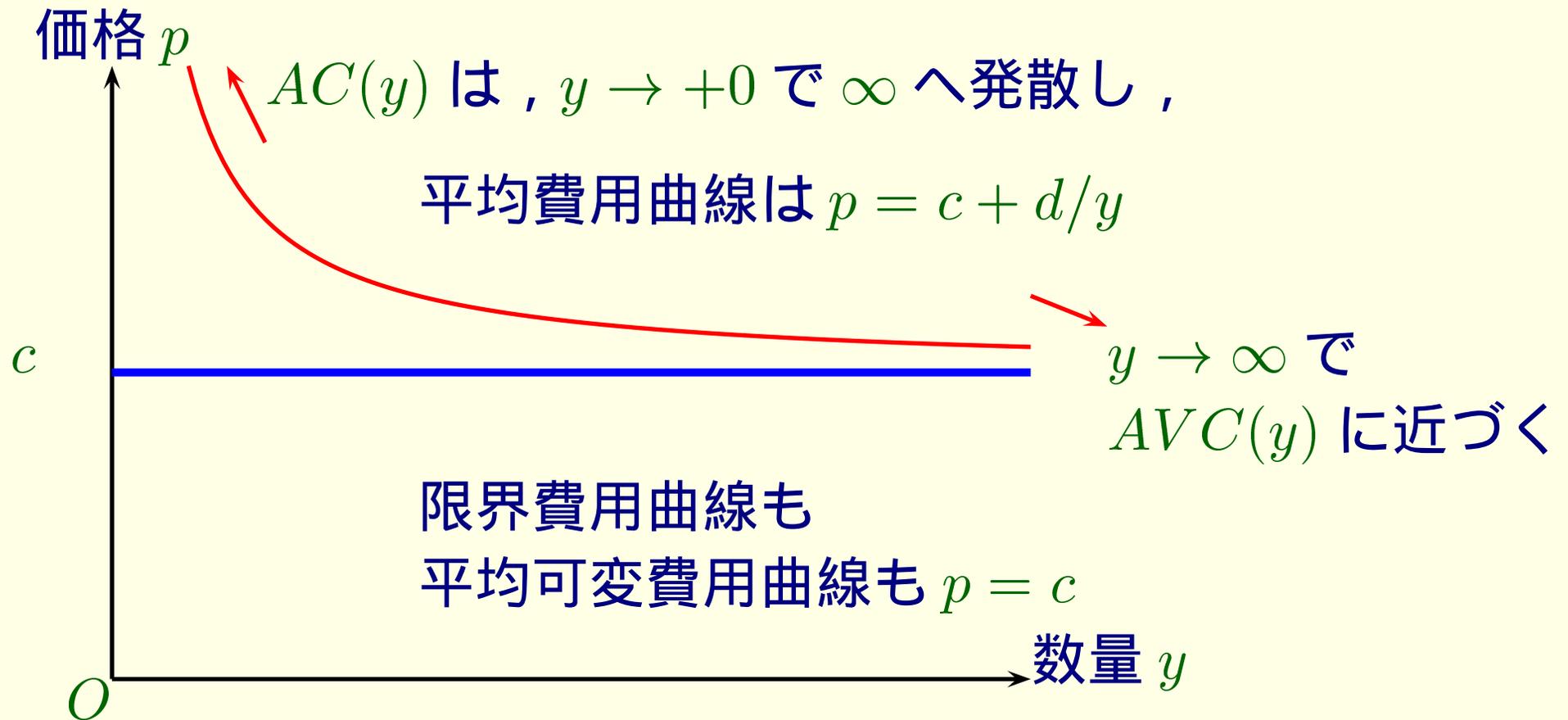
## 2 $TC(y) = cy + d$ のとき



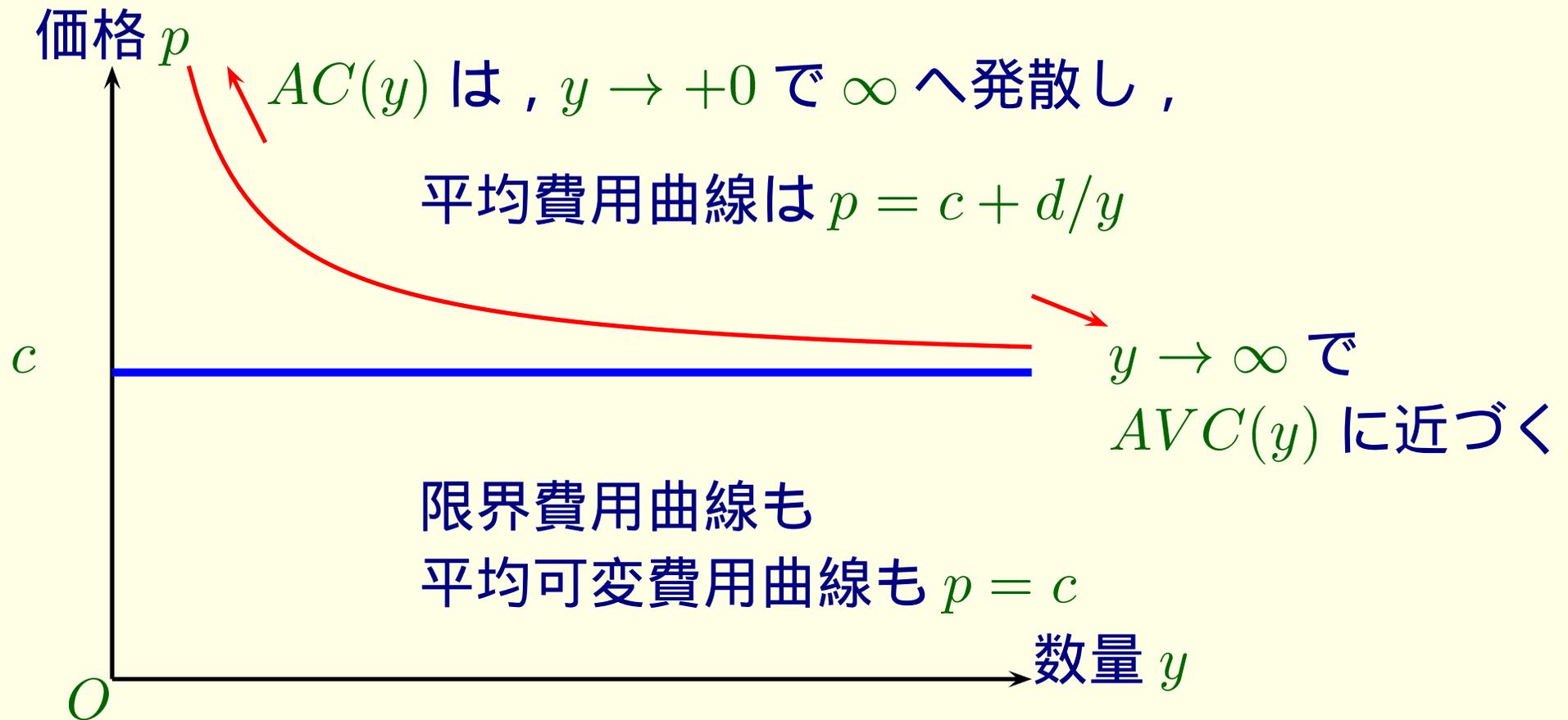
## 2 $TC(y) = cy + d$ のとき



## 2 $TC(y) = cy + d$ のとき

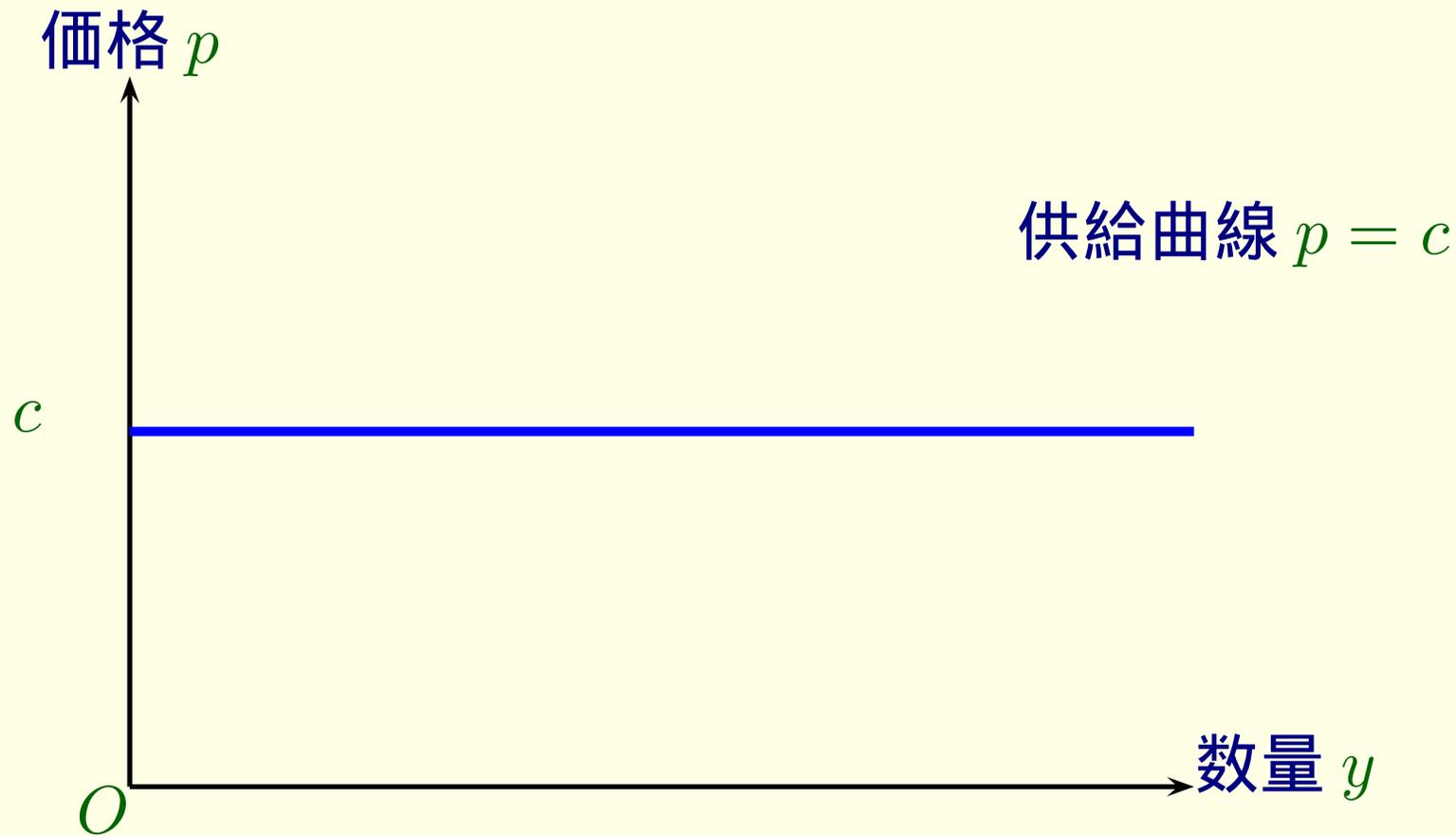


## 2 $TC(y) = cy + d$ のとき



企業の供給曲線は,  $p = MC(y)$  なので, … 次ページ

### 3 $TC(y) = cy + d$ のときの、企業の供給曲線



## 4 注意事項

- $TC(y) = cy + d$  のような費用曲線の場合，企業の利潤は 0 となる．なぜか考えてみるとよい．

End

Push Esc Key or Click **閉じる, 最大化.**

**(C)KADODA Tamotsu (角田 保)**  
**@ Daito Bunka Univ. (大東文化大学)**  
**Last Modified: July 15, 2007**